

## 平成 22 年度 医療安全管理の取組について

横浜市立市民病院、脳血管医療センターの「平成 22 年度 医療安全管理の取組について」は、別添資料のとおりです。

お問い合わせ先		
病院経営局総務課長（兼 市民病院総務課長）	魚本 一司	Tel 045-331-7721
脳血管医療センター医事課長	倉本 裕義	Tel 045-753-2659

# 平成22年度 医療安全管理の取組について【概要】

## － 医療事故・医療安全の取組の報告 －

### 【横浜市立市民病院・横浜市立脳血管医療センター】

病院経営局が直接運営する市民病院及び脳血管医療センターの、平成22年度における医療事故及び医療安全管理の取組について、報告がまとまりましたので公表いたします。

#### 1 平成22年度中に発生した医療事故の一括公表事案の件数

	20年度	21年度	22年度	対前年度 増 減
市民病院	0件	1件	0件	△1件
脳血管医療センター	0件	0件	0件	0件
計	0件	1件	0件	△1件

#### 2 主な医療安全の取組について

##### (1) 市民病院

###### ① 患者さんの医療参加

患者さんと医療者が治療目標を共有し、患者さんの医療参加を促進することを目的に、「患者参加型カンファレンス」を初めての試みとして実施しました。

###### ② 部門を超えたスタッフ間の連携の促進

多部門、多職種からなるワーキンググループ活動として、医師からの指示出しに関する課題や、生体監視装置の運用上の課題を整理しました。

###### ③ 診療システムや施設・設備面の改善・整備

アレルギー食材の誤提供を防ぐために、診療システム画面を改良しました。また、新生児無呼吸センサーの導入や、電気機器の安全使用について院内巡視による点検を行いました。

##### (2) 脳血管医療センター

###### ① 緊急時対応の取組の充実

救急サポートチームを中心に、気管挿管防止マニュアルを作成し、挿管防止に必要な診療器材を救急カートや救急外来へ整備するとともに、医師への緊急気道確保の実技研修を行いました。

###### ② 医療安全研修の開催方法の工夫

研修の効果を向上させることを目的に、ロールプレイやグループワークを取入れた参加型研修を開催するとともに、研修終了時にミニテストやミニレポートによる理解度チェックを行いました。

#### 3 インシデント報告件数

	20年度	21年度	22年度	対前年度 増 減
市民病院	2,635件	2,434件	2,976件	542件
脳血管医療センター	1,635件	1,465件	1,327件	△138件
計	4,270件	3,899件	4,303件	404件

これらのインシデント報告を分析することにより、転倒・転落や薬剤の誤飲等の医療事故を防止し、診療業務や感染防止対策などにおいて、安全管理の視点に立った業務改善を行っています。

※インシデント： 医療従事者が医療を行ううえで、“ヒヤリ”としたり、“ハッ”とした経験で、医療事故には至らなかった事例をいいます。

平成 22 年度 医療安全管理の取組について

平成 23 年 7 月 7 日

横浜市病院経営局

# 目 次

1	市民病院	1
(1)	主な改善項目	2
(2)	安全管理に係る委員会等の活動状況	3
(3)	安全管理研修等の開催状況	6
(4)	インシデント報告の状況	10
2	脳血管医療センター	11
(1)	主な改善項目	12
(2)	安全管理に係る委員会等の活動状況	14
(3)	安全管理研修等の開催状況	17
(4)	インシデント報告の状況	19

# 1 市民病院

## 取組の概要

平成 22 年度は、部門を超えたスタッフ間の連携と患者・家族の医療参加推進を目標に取り組みました。

セーフティマネージャによるグループ活動では、指示出しに関する状況や、生体監視装置の運用について検討し、次年度への取組課題として整理しました。医療安全推進週間では、病院利用者に向けて職種・部門における安全管理への取組を紹介したポスター展示を 7 部門が行い、全職員を対象に、いわゆる「5S」（整理・整頓・清潔・清掃・躰）をテーマとした安全管理講演会を開催し、医療現場への応用について考える機会としました。

また、初めての試みとして一部病棟で「患者参画型カンファレンス」に取り組みました。患者参画型カンファレンスは患者さんと医療者が目標を共有し、チーム医療の中心である患者さんが積極的に医療に参画するためのカンファレンスです。この取組は、患者・医療者間の信頼関係の構築やチーム医療の充実につながりました。

今年度の新たな取組としては、点滴注射の投与経路間違い防止など医薬品の安全使用に関する改善策を取りまとめた他、診療システムの改善や施設・設備面の改善など、患者さんの日々の療養場面に関わる安全対策の強化に取り組みました。これらの対策は職種を超えたプロジェクト活動として策定しました。

さらに、病院職員の安全管理研修へ受講を促進するために、研修会の広報や個々の職員に対し参加への呼びかけを丁寧に行い、視聴覚教材の活用を含め研修会の開催回数を増やすなどの取組を行いました。

# (1) 主な改善項目

市民病院

	項目	改善内容
薬剤	点滴投与ルート間違い防止	投与ルート間違いを未然に防止することを目的に、中心静脈から投与する薬剤は末梢血管からの投与を禁止する旨の表示を行いました。
	薬剤師による抗がん剤注射剤のミキシング拡大	薬剤師による抗がん剤注射剤のミキシング業務(混合調製)を、平日のみの対応から土日休日も対応するように拡大しました。
	高濃度ヘパリン製剤の運用整備	高濃度ヘパリン製剤の院内採用に伴い、安全使用にむけて肺塞栓症予防マニュアルの改訂と高濃度ヘパリン製剤払い出し手順等の整備を行いました。
転倒・転落	転倒・転落マニュアルの改訂	転倒・転落により頭部打撲があった場合、原則全例に頭部CT撮影を実施することとし、その後の診療に役立てるようマニュアルを改訂しました。
患者参加	患者参画型カンファレンスの試行	患者・家族の医療参加を推進する具体的取組として、一部病棟で医師と看護師が協働し、きめ細かな計画のもとに患者参画型カンファレンスを試行しました。
その他	無呼吸センサーの導入	新生児の呼吸などの身体の動きを圧センサーで感知することにより無呼吸の状態を察知し、安全を確保することを目的として新生児無呼吸センサーを導入しました。
	病棟浴室の管理基準及び環境整備	浴室での急変に備え、浴室の管理基準や浴室設備(鍵や表示など)の整備を行いました。
	アレルギー食材登録画面の改訂	アレルギー食材を含有した給食が誤って提供されないよう、アレルギー食材の電子カルテへの登録を行っています。食事オーダー画面のアレルギー食材表示順レイアウトを変更し、登録時のエラー防止対策を行いました。
	電気安全ラウンドと研修会の実施	医療機器からの発火を機に再発防止策のひとつとして、各病棟の医療機器の配線状況や整理等について院内を巡視し点検を行いました。また、各部署で実施した自主点検結果のフィードバックと電気安全への啓発を目的として研修会を開催しました。
安全教育	ニュースレターの発行	病院の安全対策や部署の安全管理の取組の紹介、新セーフティマネージャの紹介などを掲載した安全管理ニュースレターを発行し、安全管理に関する情報共有を行いました。
	安全管理研修参加率向上	安全管理研修の開催について広報を強化するとともに、研修未受講職員に対する呼びかけや、DVDビデオによるフォローアップ研修の複数回開催などの取り組みを行いました。その結果、安全管理研修の受講者は昨年に比べ約40%増加しました。

## (2) 安全管理に係る委員会等の活動状況

市民病院

開催回	開催日	主な議題
第1回	平成22年4月21日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 呼吸療法サポートチームの報告</li> <li>2 患者相談窓口の状況報告</li> <li>3 平成22年度医療安全管理名簿について</li> <li>4 平成22年3月及び平成21年度のインシデント報告</li> <li>5 ビスコリン注販売中止に伴う対応について</li> <li>6 平成22年度医療安全管理活動計画</li> <li>7 D-dimerの院内測定開始について</li> </ol>
第2回	平成22年5月19日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 患者相談窓口の状況報告</li> <li>2 呼吸療法サポートチームの報告</li> <li>3 医薬品安全管理部会報告</li> <li>4 医療安全オリエンテーション報告</li> <li>5 中心静脈カテーテルに関する安全管理研修報告</li> <li>6 第1回セーフティマネージャ会議報告及び今後の計画</li> <li>7 事例報告</li> <li>8 新生児無呼吸センサー導入の進捗状況</li> <li>9 4月のインシデント報告、事例紹介</li> <li>10 連休(GW)中のインシデント報告</li> <li>11 平成22年度医療機器安全管理部会、呼吸療法サポートチーム名簿</li> <li>12 救急カート新設の申請(CT室)</li> </ol>
第3回	平成22年6月16日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 患者相談窓口の状況報告</li> <li>2 呼吸療法サポートチームの報告</li> <li>3 第2回セーフティマネージャ会議報告</li> <li>4 4、5月のインシデント報告</li> <li>5 安全管理マニュアル差し替え作業完了報告</li> <li>6 医薬品安全管理研修について</li> <li>7 静脈注射研修報告と生体シュミレーターの貸出について</li> <li>8 安全管理講演会について</li> <li>9 「看護師等による静脈注射実施に関するガイドライン」改訂について</li> </ol>
第4回	平成22年7月21日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 患者相談窓口の状況報告</li> <li>2 呼吸療法サポートチームの報告</li> <li>3 医療機器安全管理部会報告</li> <li>4 患者の安全管理に関する評価委員会報告</li> <li>5 平成21年度 医療安全管理の取組について</li> <li>6 安全管理研修受講への取り組みについて</li> <li>7 セーフティマネージャ会議進捗報告</li> <li>8 分析部会報告</li> <li>9 6月のインシデント報告について</li> <li>10 事例報告</li> </ol>

開催回	開催日	主な議題
第5回	平成22年9月15日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 患者相談窓口の状況報告</li> <li>2 呼吸療法サポートチームの報告</li> <li>3 安全管理講演会報告</li> <li>4 新セーフティマネージャ研修報告</li> <li>5 内視鏡センターの改善事例紹介</li> <li>6 7,8月のインシデント報告と事例紹介</li> <li>7 事例検討会報告</li> <li>8 救急カート搭載薬品追加申請(ICU)</li> </ol>
第6回	平成22年10月20日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 患者相談窓口の状況報告</li> <li>2 呼吸療法サポートチームの報告</li> <li>3 医療機器安全管理部会報告</li> <li>4 医療安全推進週間の取り組みについて</li> <li>5 事例検討会報告</li> <li>6 点滴注射投与ルート間違い防止対策について</li> <li>7 9月のインシデント報告と事例紹介</li> <li>8 転倒・転落インシデントについて</li> <li>9 肺塞栓症予防マニュアルの改訂について</li> <li>10 転倒・転落発生時の院内共通対策について</li> </ol>
第7回	平成22年11月17日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 患者相談窓口の状況報告</li> <li>2 呼吸療法サポートチームの報告</li> <li>3 立ち入り検査(医療監視)報告</li> <li>4 医療安全推進週間の安全管理研修(講演会、視聴覚研修)について</li> <li>5 10月のインシデント報告と事例紹介</li> <li>6 アレルギー食材の給食提供防止対策(患者基本情報入力)について</li> </ol>
第8回	平成22年12月15日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 患者相談窓口の状況報告</li> <li>2 呼吸療法サポートチームの報告</li> <li>3 医療機器安全管理部会報告</li> <li>4 臨時医薬品安全管理部会報告</li> <li>5 セーフティマネージャ活動報告会の開催について</li> <li>6 事例検討会報告</li> <li>7 11月のインシデント報告と事例紹介</li> <li>8 患者間違いインシデントについて</li> <li>9 血管造影室への救急カート新設申請について</li> </ol>
第9回	平成23年1月19日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 患者相談窓口の状況報告</li> <li>2 呼吸療法サポートチームの報告</li> <li>3 医薬品安全管理部会報告</li> <li>4 アレルギー食材の給食提供防止対策(食事オーダー入力)について</li> <li>5 セーフティマネージャ活動報告会(開催計画)について</li> <li>6 12月のインシデント報告と事例紹介</li> <li>7 病棟浴室における安全対策について</li> <li>8 安全管理ポケットマニュアル平成23年度年版の発行計画について</li> <li>9 安全管理マニュアル改訂(第7版発行)について</li> <li>10 オカレンス報告の報告基準と様式について(確認)</li> </ol>



開催回	開催日	主な議題
第10回	平成23年2月16日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 安全管理研修講演会について</li> <li>2 患者相談窓口の状況報告</li> <li>3 呼吸療法サポートチームの報告</li> <li>4 セーフティマネージャ活動報告会(開催報告)について</li> <li>5 患者の安全管理に関する評価委員会報告</li> <li>6 転倒・転落ワーキング中間報告</li> </ol>
第11回	平成23年3月16日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 患者相談窓口の状況報告</li> <li>2 呼吸療法サポートチームの報告</li> <li>3 安全管理研修講演会報告</li> <li>4 セーフティマネージャ会議報告</li> <li>5 安全管理ポケットマニュアル平成23年度版の発行について</li> <li>6 1、2月のインシデント報告と事例紹介</li> <li>7 平成22年度 安全管理活動実績</li> <li>8 平成22年度 安全管理研修の評価</li> <li>9 転倒・転落防止ワーキングからの提案について</li> <li>10 安全管理マニュアルの改訂について 「横浜市立市民病院 医療安全指針」について</li> </ol>

### (3)安全管理研修等の開催状況

市民病院

開催月	内容	対象者	参加職種	参加人数	合計
4月	輸液ポンプ・シリンジポンプ〔講師:臨床工学技士〕	HCU看護師	看護師	6名	6名
	血管内エコー(IVUS)新規機器説明会	画像診断部	放射線技師	11名	11名
5月	中心静脈カテーテルに関する安全管理〔講師:麻酔科医師〕	研修医・医師	医師 研修医 看護師	3名 22名 1名	26名
	人工呼吸器 Evita X-L〔講師:臨床工学技士〕	研修医	医師	6名	6名
	看護技術研修「採血」〔講師:看護部〕	新採用看護師	看護師	62名	62名
	看護技術研修「輸液ポンプ・シリンジポンプ」〔講師:臨床工学技士〕	新採用看護師	看護師	62名	62名
6月	在宅呼吸療法研修〔講師:臨床工学技士〕	臨床工学技士 看護師 事務	CE 看護師 事務	4名 2名 1名	7名
	人工呼吸器基礎Ⅰ「呼吸生理と安全管理」〔講師:臨床工学技士、認定看護師〕	看護師	看護師	14名	14名
	人工呼吸器基礎Ⅱ「人工呼吸器の操作方法」〔講師:臨床工学技士〕	看護師	看護師	8名	8名
	人工呼吸器 A-1研修(アドバンスコース)〔講師:RS T〕	研修医	研修医	14名	14名
7月	第1回安全対策研修「暴力から患者・職員を守るための安全対策」〔講師:保土ヶ谷警察署職員〕	全職員	医師 看護師 コメディカル 事務 その他	3名 25名 6名 8名 2名	44名
	人工呼吸器 A-1研修(アドバンスコース)〔講師:RS T〕	研修医	研修医	18名	18名
	人工呼吸器基礎Ⅰコース〔講師:臨床工学技士、認定看護師〕	看護師(東4・ICU)	看護師	12名	12名
	静脈注射研修(講義)〔講師:整形外科医師、薬剤師、安全管理担当〕	看護師 コメディカル	看護師 コメディカル	70名 5名	75名
	静脈注射研修(演習)〔担当:看護部〕	看護師	看護師	38名	38名
	インスリンと麻薬の取扱い〔講師:薬剤師〕	新採用看護師	看護師	52名	52名
	第1回医薬品安全管理研修「医薬品の安全使用について～基礎編～」〔講師:テルモ株式会社学術担当 石川洲洋氏〕	全職員	医師 看護師 CE 薬剤師 その他	3名 15名 7名 17名 4名	44名
	人工呼吸器基礎Ⅱ「人工呼吸器の操作方法」〔講師:臨床工学技士〕	看護師	看護師	12名	12名
	新セーフティマネージャ研修〔講師:医療安全管理担当〕	新セーフティマネージャ	医師 看護師 CE 放射線技師 事務	1名 3名 1名 1名 1名	7名
	デュアルショットGXV 多相電動式造影剤注入装置説明会	医師 看護師 放射線技師	看護師 医師 放射線技師	8名 2名 3名	13名
	全身用X線CT診断装置新規機器説明会	放射線技師	放射線技師	3名	3名
	富士画像診断ワークステーション汎用画像診断装置説明会	放射線技師	放射線技師	4名	4名
	第1回医薬品安全管理研修「医薬品の安全使用について」～基礎編～(視聴覚研修)	ICU看護師	看護師	38名	38名
8月	第1回市民病院薬剤部研修会「頭頸部がんについて」〔講師:耳鼻咽喉科医師、薬剤師〕		医師 看護師 薬剤師 栄養士 その他	1名 6名 17名 1名 1名	26名
	新セーフティマネージャ研修〔講師:医療安全管理担当〕	新セーフティマネージャ	看護師 理学療法士 事務	1名 1名 2名	4名

9月	第1回安全管理研修講演会「普通のことを普通に ～患者本位の初期対応～」 〔講師:社会保険相模野病院病院長 内野直樹 氏〕	全職員	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 放射線技師 臨床工学技士 事務 理学療法士 その他	5名 57名 5名 8名 5名 7名 30名 7名 3名	127名
	人工呼吸器基礎Ⅰ「呼吸生理と安全管理」〔講師:臨床工学技士、認定看護師〕	看護師	看護師	10名	10名
	静脈注射研修(演習)〔担当:看護部〕	看護師	看護師	14名	14名
	事例分析手法〔講師:医療安全管理担当〕	全職員	看護師 薬剤師 放射線技師	12名 1名 1名	14名
	人工呼吸器基礎Ⅱ「人工呼吸器の操作方法」〔講師:臨床工学技士〕	看護師	看護師	8名	8名
10月	人工呼吸器基礎Ⅰ「呼吸生理と安全管理」〔講師:臨床工学技士、認定看護師〕	看護師	看護師	16名	16名
	看護技術研修「多重課題」〔講師:看護部〕	新採用看護師	看護師	37名	37名
	血管内エコー(IVUS)新規機器説明会	放射線技師 臨床工学技士	放射線技師 臨床工学技士	3名 1名	4名
	人工呼吸器基礎Ⅱ「人工呼吸器の操作方法」〔担当:臨床工学技士〕	看護師	看護師	8名	8名
11月	第2回安全対策研修「暴力から患者・職員を守るための安全対策」 〔講師:保土ヶ谷警察署職員〕	全職員	医師 看護師 臨床検査技師 放射線技師 薬剤師 コメディカル 事務	4名 32名 4名 2名 3名 2名 17名	64名
	人工呼吸器基礎 B-1〔講師:臨床工学技士、認定看護師〕	看護師	看護師	5名	5名
	事例分析手法〔講師:医療安全管理担当〕	全職員	看護師 臨床検査技師 放射線技師	12名 1名 1名	14名
	医療安全推進週間「ビデオ・DVD研修」〔担当:医療安全管理担当〕	全職員	医師 看護師 放射線技師 臨床検査技師 栄養士 事務 その他	13名 22名 30名 17名 4名 10名 1名	97名
	第2回安全管理研修講演会「5Sと医療現場への応用」 〔講師:テルモ株式会社 前田 浩司 氏〕	全職員	医師 看護師 臨床検査技師 放射線技師 薬剤師 栄養士 臨床工学技士 事務	24名 94名 6名 4名 2名 2名 1名 11名	144名
	人工呼吸器 A-1研修(アドバンスコース)〔講師:RS T〕	研修医	研修医	10名	10名
	人工呼吸器基礎Ⅱ「人工呼吸器の操作方法」〔担当:臨床工学技士〕	看護師	看護師	14名	14名

1月	人工呼吸器基礎Ⅰ「呼吸生理と安全管理」〔講師：臨床工学技士、認定看護師〕	看護師	看護師	10名	10名
	ziosoft ziostation血管撮影装置説明会	放射線技師	放射線技師	2名	2名
	東芝 INFX-8000V血管撮影機器説明会	医師 放射線技師	医師 放射線技師	5名 3名	8名
	第2回市民病院医薬品安全管理研修会「薬物乱用の現状と対応」 〔講師：神奈川県保健福祉局生活衛生部薬務課 本田正純 氏〕	全職員	医師 研修医 看護師 薬剤師 放射線技師 コメディカル 事務	22名 11名 29名 11名 3名 1名 4名	81名
	セーフティマネージャ活動報告会	全職員	医師 看護師 放射線技師 臨床検査技師 臨床工学部 理学療法士 栄養士 薬剤師 事務	19名 33名 6名 5名 2名 1名 2名 4名 12名	84名
	酸素療法器具の選択方法〔講師：臨床工学技士〕	全職員	看護師 臨床検査技師 臨床工学技士	67名 4名 1名	72名
東芝 INFX-8000V説明会	医師 放射線技師	医師 放射線技師	6名 3名	9名	
2月	第3回安全管理研修講演会「入浴リスクとアセスメント」 〔講師：慶應義塾大学医学部救急医学教室教授 堀進悟 氏〕	全職員	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 臨床工学技士 栄養士 事務	52名 74名 1名 1名 1名 2名 21名	152名
	酸素療法器具の選択方法〔講師：臨床工学技士〕	全職員	医師 看護師	2名 44名	46名
	大動脈バルンパンピング〔講師：臨床工学技士〕	CCU看護師	看護師	19名	19名
	第2回市民病院薬剤部研修「リンパ浮腫の治療について」 〔講師：看護師、形成外科医師〕	全職員	医師 看護師 薬剤師	2名 13名 11名	26名
	事例分析手法〔講師：医療安全管理室担当〕	全職員	看護師 臨床検査技師 理学療法士	11名 1名 1名	13名
3月	安全管理研修フォローアップ研修～視聴覚教材による研修～ 〔担当：医療安全管理室〕	今年度研修未受講者職員	医師 看護師 事務 その他	9名 30名 4名 3名	46名
	電気安全研修会〔講師：総務課庶務係長、臨床工学技士〕	全職員	医師 看護師 薬剤師 放射線技師 臨床検査技師 臨床工学技士 栄養士 事務	2名 21名 1名 5名 3名 1名 1名 9名	43名
通年	輸液ポンプ・シリンジポンプ(全10回)〔講師：臨床工学技士〕	新採用看護師	看護師	34名	34名
合計					1837名

1次救命処置、2次救命処置 院内講習会

通年	1次救命処置研修（全10回）〔講師：臨床工学技士、看護師〕	看護師	看護師	47名	47名
	2次救命処置研修〔講師：医師、臨床工学技士、看護師〕	研修医、看護師 臨床工学技士	研修医 看護師 臨床工学技士	17名 7名 2名	26名
合計					<b>73名</b>

安全管理オリエンテーション（受け入れ時研修）

通年	安全管理体制とリスクマネジメント（全22回）	全職員	医師	42名	
			研修医	20名	
			看護師	122名	202名
			放射線技師	2名	
			臨床検査技師	1名	
			臨床工学士	1名	
			理学療法士	2名	
			事務	12名	
合計					

#### (4)インシデント報告の状況

市民病院

22年度 延べ入院患者 202,268人、延べ外来患者数 302,694人

21年度 延べ入院患者 196,305人、延べ外来患者数 303,833人

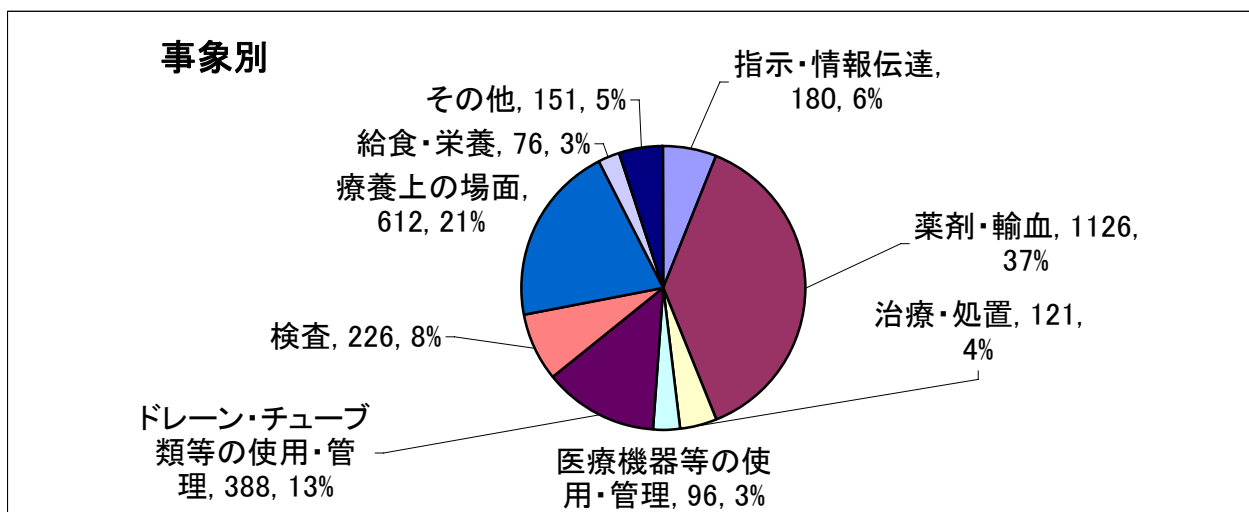
#### 【事象別】

(件数)

インシデント報告	21年度	22年度	増▲減	22年度 構成比
	2,434件	2,976件	542	100.0%
指示・情報伝達	129件	180件	51	6.0%
薬剤・輸血	935件	1,126件	191	37.8%
(内訳)				
処方	50件	68件	18	2.3%
調剤・製剤管理等	190件	235件	45	7.9%
与薬(注射・点滴・中心静脈注射)	301件	336件	35	11.3%
与薬(内服薬)	269件	327件	58	11.0%
与薬(その他)	84件	108件	24	3.6%
麻薬	31件	45件	14	1.5%
輸血・血液製剤	10件	7件	▲3	0.2%
治療・処置	108件	121件	13	4.1%
医療機器等の使用・管理	48件	96件	48	3.2%
ドレーン・チューブ類等の使用・管理	299件	388件	89	13.0%
検査	169件	226件	57	7.6%
療養上の場面	568件	612件	44	20.6%
(内訳)				
転倒・転落	467件	509件	42	17.1%
その他	101件	103件	2	3.5%
給食・栄養	35件	76件	41	2.6%
その他	143件	151件	8	5.1%

#### 【職種別】

インシデント報告	21年度	22年度	増減	22年度 構成比
	2,434件	2,976件	542	100.0%
医師	64件	58件	▲6	1.9%
看護師・助産師	2,170件	2,642件	472	88.8%
放射線技師	36件	32件	▲4	1.1%
薬剤師	83件	110件	27	3.7%
臨床検査技師	40件	49件	9	1.6%
PT・OT・ST・視能訓練士・心理療法士	16件	19件	3	0.6%
臨床工学技士	8件	22件	14	0.7%
栄養士・調理師	12件	35件	23	1.2%
事務職員	3件	8件	5	0.3%
その他	2件	1件	▲1	0.0%



## 2 脳血管医療センター

### 取組の概要

平成 22 年度は、前年度に引き続き「確認行為の周知徹底」に取り組むとともに、取組の強化期間として、脳血管医療センター医療安全週間（7 月）、及び医療安全推進週間（11 月）を設定し、各部署における取組内容を全リスキーマネジャーと共有し、その活用を図りました。

また、確認行為の自己評価アンケートを実施し、確認行為の遵守状況を評価するとともに、ルールを周知する機会としました。同時に、医師からのインシデント報告を推進する取組の参考とするため、医師の意識調査を行いました。

救急サポートチームはチーム活動の一環として「気管誤挿管防止マニュアル」を作成しました。

マニュアルに基づき、気管誤挿管防止を確認するため補助器具「E D D チェッカー」、「簡易型カプノメータ」を救急カートに搭載し、また、関連機器「C O<sub>2</sub> センサー」を挿管頻度の高い救急外来に設置いたしました。さらに医師対象に救命応急処置「緊急気道確保」の実技研修を行いました。

B L S（一次救命処置）、A C L S（二次救命処置）の研修は継続して行いました。

医療安全研修は、研修項目を分類し対象や実施主体等を整理しました。また、研修の方法や運用について検討を行い、ロールプレイや体験形式、グループワークを取り入れた参加型研修を開催しました。

研修終了時にはミニテストやミニレポート等で研修の理解度を確認しました。なお、研修に参加できなかった職員に対しては、ビデオ上映会の開催、D V D の貸し出し、院内 L A N を活用した研修を実施しました。

## (1)主な改善項目

### 脳血管医療センター

	項目	改善内容
薬剤	インスリン製剤の規格追加	ノボラピット <sup>®</sup> 30ミックスフレックスペンに加え、ノボラピット <sup>®</sup> 70ミックスフレックスペンが追加採用となったため、超速効成分の割合が分かるよう「超速効型30」と「超速効型70」のシールを作成し交付時に添付することにした。
	PTP包装シート誤飲防止対策	① 患者及び家族への服薬指導時に、PTP包装シート誤飲防止について薬剤師及び看護師が指導を実施することにし、② 薬袋には「おくすりは、包装シートから取り出してお飲み下さい」の印字を赤字で追加しました。
	臨時処方の指示もれ対策	医師の「指示コメント」による指示で「病棟配置薬」を使用し「処置オーダ」で実施入力する運用を開始しました。病棟配置薬は「定期処方用の与薬カート」で定数管理することにした。
施設	全病室窓の開放制限	窓からの患者さんの離院・転落を防止するために、全病室の窓に器具を取り付け、10cm以上窓が開かないようにしました。
教育	医療安全研修の体系化及び運用の工夫	①職種別等医療安全研修の整理 医療安全研修の項目・対象・実施主体を整理し提示しました。 ②医療安全研修の未受講者対応の工夫 医療安全研修の未受講者へは、DVD上映会の開催、DVD視聴、院内LANを活用した自己学習を行い、ミニテストやミニレポート等で理解度を確認しました。
	薬剤確認のDVDの作成	看護部安全委員会において、「内服薬」「インスリン」「点滴」の準備から投与までの確認行為のDVDを作成しました。23年度看護部内の取組に活用する予定です。
診療	気管挿管位置確認マニュアルの策定	誤挿管を早期発見するために、確認マニュアルを策定し、確認の補助器具として、EDDチェッカー、カプノメータ(簡易)を救急カートに搭載しました。さらにCO <sub>2</sub> センサーを挿管頻度の高い救急外来に設置いたしました。
	紙ベースの救急外来指示票の導入	電子カルテへの指示の入力、及びその指示の確認が困難な現状に対し、紙ベースの救急外来指示票を用い明確な指示確認、診療録への保存、確実な医事請求を可能にしました。



体制	外来患者さんが診察券を持参していない場合の対応のルール化	外来患者さんが診察券を持参していない場合、口頭確認で診療が行われていましたが、外来患者さんの患者確認は診察券で行うことが原則であるため、診察券を再発行する対応に変更しました。再発行の際も2つ以上の方法で患者さんの確認を行うこととしました。
	家族連絡先の整理(一元化)	電子カルテ上に家族情報が散在しているため家族連絡先はキーパーソンの欄に一元化しました。
	医療安全管理マニュアルの改編	全体構成を3編構成から2編構成に変更しました。部門編を削除し、薬剤・画像検査・医療機器に関する安全管理の内容を整理し、共通編に追録しました。
	各種マニュアルの改訂	「説明と同意」「身体抑制マニュアル」「モニターアラーム管理におけるPITシステムの運用」「肺塞栓予防マニュアル」等を現状に合わせ改訂しました。
その他	医療安全週間の取組	<p>現状把握とアンケート(自己チェック)によりルールを再確認することを目的に、7月1日～7日のセンター医療安全週間と年度末に、院内共通テーマ「確認」について全職員対象のアンケート(確認行動の自己チェック)を実施しました。</p> <p>また、看護師、医師には、チューブ管理や口頭指示などのチェックを項目を追加し、ルールが遵守されているかを評価しました。</p> <p>結果は各部署へフィードバックし、部署の次年度の取組の参考にしてもらいました。</p> <p>医師のインシデント報告を推進するため医師の「インシデント報告に対する意識調査」を行いました。</p>

## (2)安全管理に係る委員会等の活動状況

脳血管医療センター

開催回	開催日	主な議題
第1回	平成22年4月8日	1 3月分インシデント報告 2 3月分薬剤関連報告、医薬品点検結果報告 3 平成21年度 医療安全管理体制と委員会開催、研修計画について 4 事例報告 ①異食事例 ②手術時の左右間違い(他院事例) 5 チーム活動報告(救急サポートチーム、呼吸サポートチーム、モニターアラームコントロールチーム)
第2回	平成22年5月13日	1 4月分インシデント報告 2 4月分薬剤関連報告、医薬品点検結果報告 3 医療安全情報(処方表記の解釈の違いによる薬剤量間違い) 4 事例報告 ①急変時対応(事例検討報告) ②病室窓からの患者離院事例 5 AED点検結果報告 6 BLS、ACLS研修開催予定
第3回	平成22年6月10日	1 5月分インシデント報告 2 5月分薬剤関連報告、医薬品点検結果報告 3 事例報告 ①指示情報伝達に関連する事例 ②患者確認に関連する事例 4 身体抑制マニュアルの見直し 5 救急外来における薬剤投与の指示について 6 医療安全週間の取組について 7 医療安全情報(No.42) 8 医薬品安全管理研修報告
第4回	平成22年7月8日	1 6月分インシデント報告 2 6月分薬剤関連報告、医薬品点検結果報告 3 「病院経営局患者の安全に関する評価委員会」提出資料 4 身体抑制マニュアル改訂について 5 病室窓の施錠について 6 気管挿管確認マニュアル策定について 7 医療安全週間取組報告(第一報) 8 医療安全研修(緊急気道確保ワークショップ)開催予定 9 医療安全情報(No.43)
第5回	平成22年9月9日	1 7・8月分インシデント報告 2 7・8月分薬剤関連報告、医薬品点検結果報告 3 事例報告 ①胃瘻チューブ抜去事例 ②院外薬局の調剤過誤を発見できなかった事例 4 ヨード造影剤、MR造影剤使用同意書について 5 「患者の安全管理に関する評価委員会」報告 6 医療安全週間(7月)取組報告 7 医療安全情報(No.44、No.45) 8 医療安全研修報告および開催予定

開催回	開催日	主 な 議 題
第6回	平成22年10月14日	1 9月分インシデント報告 2 9月分薬剤関連報告、医薬品点検結果報告 3 事例報告 ①倍量処方に関連した事例 ②確認不足事例 4 ヨード造影剤、MR造影剤使用同意書について 5 医療監視報告 6 医療安全週間(11月)取組予定 7 医療安全研修開催予定
第7回	平成22年11月11日	1 10月分インシデント報告 2 10月分薬剤関連報告、医薬品点検結果報告 3 外来部門取組報告 4 医療監視指導事項について ①医療安全研修について ②アクシデント発生時の記録について 5 ヨード造影剤、MR造影剤使用同意書について 6 倍量処方について 7 厚労省通知 ①医療・介護用ベッドの安全対策 ②PTP包装シートの誤飲防止対策 ③肺炎球菌ワクチン誤接種防止対策 8 医療安全週間(11月)取組予定 9 救急サポートチーム報告
第8回	平成22年12月9日	1 11月分インシデント報告 2 11月分薬剤関連報告、医薬品点検結果報告 ①医療用麻薬不正使用事件(他病院事例)と当院の対応について ②ボトックスの使用について(厚労省通知) 3 医療安全週間研修会報告 4 健康福祉局医療安全研修伝達講習 「医療におけるヒューマンエラー対策25」 5 医療安全研修開催予定
第9回	平成23年1月13日	1 12月分インシデント報告 2 12月分薬剤関連報告、医薬品点検結果報告 3 ①電子カルテ不具合による薬剤誤投与について(厚労省通知) 4 事例報告 ①ワーファリン過量投与事例 ②注入の間違い ③MR検査における熱傷について(他院事例) 5 「患者の安全に関する評価委員会」開催について 6 医療安全研修報告
第10回	平成23年2月10日	1 1月分インシデント報告 「転倒転落」「チューブ関連」インシデントについて 2 1月分薬剤関連事例報告、医薬品点検結果報告 ①麻薬管理に関する事例 3 「患者の安全管理に関する評価委員会」報告 4 医療安全研修報告

開催回	開催日	主 な 議 題	
第11回	平成23年3月10日	1 2 3 4 5	2月分インシデント報告 2月分薬剤関連報告、医薬品点検結果報告 安全管理マニュアル改訂について 医療安全に関する職員研修について 確認行為の自己チェック報告(第1報)

### (3) 安全管理研修等の開催状況

脳血管医療センター

開催月	開催内容	対象者	参加職種	合計
4月	輸液ポンプ、シリンジポンプの取扱 生体監視モニターの取扱 [講師:臨床工学技士]	新採用看護師	看護師	16名 16名
5月	車いすの取扱 [講師:理学療法士] ※2回開催	全職員 (前年度までの 未受講者)	看護師 介護福祉士 看護補助者 リハ部セラピスト 事務・MSW 委託	13名 1名 3名 1名 3名 25名 46名
	人工呼吸器研修 [講師:医師、臨床工学技士、集中ケア認定看護師]	新採用看護師	看護師	16名 16名
6月	薬剤の安全管理 [講師:薬剤師] ※2回開催	全職員	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 リハ部セラピスト 事務、MSW、CE 委託	1名 112名 6名 7名 33名 16名 2名 177名
	薬剤の安全管理(伝達講習、DVD視聴)	未受講者		84名 84名
	医療安全概論	看護部業務委員会	看護師	10名 10名
	輸液セット説明会(製品変更に伴う) ※2回開催	看護師	看護師 臨床検査技師	90名 1名 91名
7月	医療安全週間研修会 「医療安全に関するチーム活動について」 [講師:モニターアラームコントロールチーム 救急サポートチーム、呼吸サポートチーム]	全職員	医師 看護師 診療放射線技師 薬剤師 リハ部セラピスト 事務、MSW、CE	13名 75名 2名 7名 3名 8名 108名
	ワークショップ CVCI、気管挿管確認 エコーガイド下血管穿刺術 クイックトラック、NPPV、エアウェイスコープ [講師:主に医師]	医師 看護師 その他	医師 看護師 CE 栄養士・薬剤師 事務	13名 43名 1名 2名 2名 61名
	医療安全概論	看護主任会	看護師	10名 10名
10月	看護部院内研修 基礎コースI(安全研修) 「事故発生メカニズムとヒューマンエラー」 「確認行為のロールプレイ」 [講師:安全管理担当、看護部教育委員]	看護師	看護師	10名 10名
	横浜市健康福祉局医療安全研修会伝達講習 「医療におけるヒューマンエラー対策25」 [講師:安全管理担当] ※河野龍太郎氏講演会の内容を伝達講習	リスクマネジャー	医師 看護師 診療放射線技師 薬剤師 臨床検査技師 栄養士 リハ部セラピスト 事務、MSW、CE	3名 8名 1名 2名 1名 1名 1名 2名 19名

開催月	開催内容	対象者	参加職種	合計	
11月	横浜市健康福祉局医療安全研修会伝達講習 「医療におけるヒューマンエラー対策25」 〔講師:安全管理担当〕	看護部安全委員会	看護師	10名	10名
	医療安全週間研修会 「医療安全とコミュニケーション」 〔講師:山内桂子氏 東京海上日動メディカルサービスKK〕	全職員	医師 看護師 診療放射線技師 薬剤師 臨床検査技師 栄養士 リハ部セラピスト 事務、MSW、CE 看護補助者・介護福祉士	12名 78名 5名 8名 6名 3名 38名 28名 12名	
12月	「医療安全とコミュニケーション」 (DVD上映会(計6回)) (DVD視聴)	未受講者		137名 106名	243名
1月	薬剤の安全管理 「新しいタイプの配合剤の留意点について」 「医療用麻薬等の適正な使用管理について」 〔講師:薬剤師〕 「みんなで考えよう。医療事故防止対策」 〔講師:石川州洋氏 テルモ株式会社〕  ※2回開催	全職員	医師 看護師 診療放射線技師 薬剤師 臨床検査技師 栄養士 リハ部セラピスト 事務、MSW、CE 委託 看護補助者・介護福祉士	7名 118名 9名 9名 14名 3名 48名 11名 37名 11名	267名
2月	「新しいタイプの配合剤の留意点について」 「医療用麻薬等の適正な使用管理について」 (メール配信、ミニテスト返信)	未受講者		42名	42名
<b>合計</b>					<b>1400名</b>

#### 1次救命処置、2次救命処置 院内講習会

開催月	開催内容	対象者	参加職種	合計	
通年	1次救命処置講習会 ※15回開催	全職員	看護師 介護福祉士・看護補助者 リハ部セラピスト 臨床検査技師 事務・MSW 委託	81名 9名 1名 1名 6名 14名	112名
6月	2次救命処置講習会(講義) ※3回開催	医師 看護師	医師 看護師	2名 80名	82名
7月～ 12月	2次救命処置講習会(ロールプレイ) ※6回開催	医師 看護師	医師 看護師	5名 31名	36名
<b>合計</b>					<b>230名</b>

#### 安全管理オリエンテーション(受け入れ時研修)

開催月	開催内容	対象者	参加職種	合計	
4月	医療安全管理体制と医療安全対策 〔講師:安全管理担当〕	新採用職員 転入職員	看護師 医師 リハ部セラピスト 事務・MSW・CE	16名 2名 1名 5名	24名
通年	医療安全管理体制と医療安全対策 〔講師:安全管理担当〕 ※6回実施	新採用職員 長期休業明け職員	看護師	11名	11名
<b>合計</b>					<b>35名</b>

#### (4) インシデント報告の状況

#### 脳血管医療センター

22年度 延べ入院患者 73,924人、延べ外来患者数 33,695人

21年度 延べ入院患者 78,689人、延べ外来患者数 33,818人

#### 【事象別】

インシデント報告	21年度	22年度	増▲減	22年度 構成比
	1,465件	1,327件	▲ 138	100.0%
指示・情報伝達	68件	75件	7	5.7%
薬剤・輸血	334件	304件	▲ 30	22.9%
(内訳)				
処方	10件	14件	4	1.1%
調剤・製剤管理等	65件	51件	▲ 14	3.8%
与薬(注射・点滴・中心静脈注射)	56件	64件	8	4.8%
与薬(内服薬)	191件	163件	▲ 28	12.3%
与薬(その他)	12件	10件	▲ 2	0.8%
麻薬	-	1件	1	0.1%
輸血・血液製剤	-	1件	1	0.1%
治療・処置	37件	49件	12	3.7%
医療機器等の使用・管理	32件	29件	▲ 3	2.2%
ドレーン・チューブ類等の使用・管理	321件	281件	▲ 40	21.2%
検査	110件	84件	▲ 26	6.3%
療養上の場面	506件	449件	▲ 57	33.8%
(内訳)				
転倒・転落	431件	389件	▲ 42	29.3%
その他	75件	60件	▲ 15	4.5%
給食・栄養	20件	20件	0	1.5%
その他	37件	36件	▲ 1	2.7%

#### 【職種別】

インシデント報告	21年度	22年度	増減	22年度 構成比
	1,465件	1,327件	▲ 138	100.0%
医師	15件	14件	▲ 1	1.1%
看護師・助産師	1,341件	1,196件	▲ 145	90.1%
放射線技師	15件	23件	8	1.7%
薬剤師	18件	18件	0	1.4%
臨床検査技師	30件	8件	▲ 22	0.6%
PT・OT・ST・視能訓練士・心理療法士	36件	58件	22	4.4%
臨床工学技士	4件	7件	3	0.5%
栄養士・調理師	4件	2件	▲ 2	0.2%
事務職員	2件	1件	▲ 1	0.1%
その他	-	-	0	0.0%

